

## Top Message

株主の皆様へ

## 通期業績見通しを過去 最高益となる5,000億円に上方修正

## 業績

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

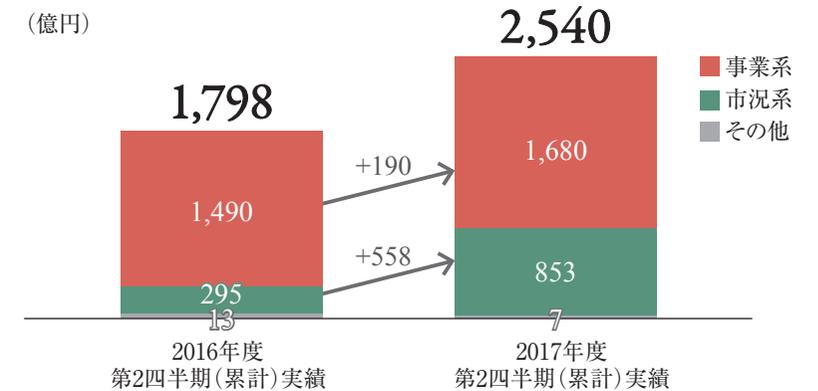
2017年度第2四半期連結決算、2017年度の通期業績見通し、および配当について、ご報告申し上げます。

2017年度第2四半期の三菱商事グループの連結純利益は2,540億円となり、前年同期比で742億円の増益、5月9日に公表しました通期業績見通し(連結純利益4,500億円)に対する進捗率は56%となりました。

事業系ではLNG関連事業やアジア自動車事業、鮭鱒養殖事業を中心に巡航利益(一過性損益を除いた利益)が前年同期比+350億円と着実に積み上がったことにより増益となりました。一方、市況系でも前年同期に計上したシェールガス事業再編に伴う一過性利益の反動があったものの、豪州石炭事業を中心に巡航利益が前年同期比+738億円となったことにより増益となりました。

「事業系」でしっかりと利益を積み上げつつ、「市況系」で市況の上昇を上手く取り込むことができ、当社の「総合力」を活かしたポートフォリオの強みが発揮された結果と捉えています。

## 連結純利益の推移



## 2017年度の通期業績見通し

事業系・市況系ともに巡航利益が順調に推移していることなどを踏まえ、2017年度通期業績見通しを過去最高益となる5,000億円(期初見通し比+500億円)に上方修正しました。

通期業績見通しが5,000億円台にのり、次の成長ステージに入りますが、引き続き資産入替によるポートフォリオ改革を進め、収益性を高めていきます。

## 配当

『中期経営戦略2018』では、株主還元については配当を基本とし、持続的な利益成長に合わせて増配していく累進配当を基本方針としております。

2017年度の年間配当につきましては、巡航利益が着実に積み上がっていることを踏まえ、期初見通しから15円増額し、1株当たり95円とする予定です。中間配当につきましては、この約半額に相当する47円(期初見通し比+7円)となります。

## 株主還元方針



# 社会のニーズに応え、 持続的成長を実現する企業グループ

三菱商事は、「三綱領」をグループ全体の企業理念として事業活動を行っています。三菱商事グループ1,200社の連結事業会社の力を結集することで、社会のニーズに応え、経済価値・環境価値・社会価値の三価値同時実現による持続的成長に挑戦します。



三菱商事には150を超えるビジネスユニットと1,200社の連結事業会社があり、これらを通じたグローバルに全産業へアクセスする力、すなわち、全産業を俯瞰する総合力を活かして、常に新たな事業機会に接していることが、当社の強みと考えています。

この総合力を堅持した上で、当社が主体的機能を発揮でき、普遍的な社会のニーズに応えることのできる分野に経営資源を集中的に投下することで、大きな収益の柱をいくつも育て、自らが意図した最適な事業ポートフォリオを構築していきます。

そのためには、事業の成長の芽を発掘する構想力と、成長を実現する実行力を有し、高い倫理

観を備えた経営人材を輩出していく必要があり、自己変革を繰り返し、より多くの経営人材を育成したいと思います。

また、現在は国際情勢の変化、経済環境の変化、技術革新による産業構造の変化、社会における価値観の変化など、外部環境の変化の激しい時代であり、変化の先取りも含めた対応力を三菱商事グループ全体で強化していきます。

今後とも、株主の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

2017年11月  
代表取締役 社長

垣内 威彦

